

油圧作動油⑤〔日本工業規格 JIS外〕

近年、脂肪酸エステル系作動油は、生分解性潤滑油として注目を集めており、万が一自然界に排出されても、生分解度がたかく環境にやさしいオイルとして位置づけられるようになりました。

鉱物油系作動油からの切り替えが容易であるため、ISO14000に代表される環境マネジメント対策に適しております。

《生分解性作動油の特徴》

- ①日本環境協会のエコマーク商品に認定されている。
- ②森林、河川、農場、湖沼、海岸の環境を守ります。
- ③水門用開閉装置、水中建設機械、ダムの油圧装置
- ④バイプロハンマー、ダウンザホールハンマー等

【生分解性・油圧作動油】

粘度区分 ISO VG	出光興産 (ダフニ-)	JXTGエネルギー	コスモ石油	シェル石油	エクソンモービル	日本ホートン
32	ビオスハイドロ 32SE			ナチュラルレ HF-E32		
粘度指数	154			210		
流動点				-60.0		
容量	20L 200L			209L		
46	ビオスハイドロ 46SE	ハイランドジネン TX-46	テラフルード E-46	ナチュラルレ HF-E46	EAL-224 46	
粘度指数	175	188	193	210		
流動点 °C		-37.5	-52.5	-50.0		
容量	20L 200L	20L 200L	18L 200L	209L	208L	
56		ハイランドジネン TX-56	テラフルード E-56			ホートルブリック B-230 (60.3)
粘度指数		194	185			211
流動点		-27.5	-32.5			-20.0
容量		20L 200L	18L 200L			18L 204L